

Clinical Question 4

発症早期の筋萎縮性側索硬化症患者に対して、日常生活における身体活動量やホームエクササイズの指導を行うことは推奨されるか

推奨 病発症早期の筋萎縮性側索硬化症患者に対して、日常生活における身体活動量やホームエクササイズの指導を行うことを弱く推奨する。

☐ 推奨の強さ：弱い推奨

☐ エビデンスの強さ：研究なし

☐ 作成グループ投票結果

当該介入に反対する強い推奨	当該介入に反対する条件付き推奨	当該介入・対照双方に対する条件付き推奨	当該介入の条件付き推奨	当該介入の強い推奨	推奨なし
0% 0名	10% 1名	30% 3名	40% 4名	20% 2名	0% 0名

◆CQの構成要素（PICO）

P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし	年齢	指定なし
疾患・病態	発症から1年以内で、機能障害の重症度がALSFRS-Rにて40点以上の患者	その他	
I (Interventions) / C (Comparisons, Controls, Comparators) のリスト			
I (Interventions) : 日常生活における身体活動量(歩数、運動時間・頻度、運動種目、等)およびホームエクササイズ指導などに関する系統だった患者教育プログラム			
C (Comparisons, Controls, Comparators) 通常のケアのみ			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容		
O1	上下肢の筋力		
O2	歩行能力		
O3	疲労感		
O4	機能障害 ALS Functional Rating Scale-Revised (ALSFRS-R)		
O5	QOL		
O6	有害事象の発生		
O7			

解説

◆CQの背景

筋萎縮性側索硬化症患者に対する理学療法としては、運動療法、呼吸理学療法、物理療法、装具療法、福祉用具の適用、環境設定、患者や家族への教育的介入が一般的に行われている。特に、運動療法や呼吸理学療法などの専門家の監視下で行われる直接的な介入だけでなく、発症早期から患者や家族への教育的介入を行うことで、疾患への管理能力を高めたり、自己効力感を高めたりすることも極めて重要であると思われる。しかしながら、発症早期の筋萎縮性側索硬化症患者に対する教育的介入の効果については、十分なエビデンスが示されていない。そこで、発症超早期で障害が軽度な筋萎縮性側索硬化症患者を対象として、日常生活における身体活動の管理やホームエクササイズの指導に焦点を当てた教育的介入の有用性と安全性について検討した。

◆エビデンスの評価

本 CQ を検証するための無作為化対照試験は該当する論文がなかった。そのため、身体活動の管理やホームエクササイズの指導における効果については不明である。また、有害事象の発生についても不明である。該当する文献がなかったため、エビデンス（科学的根拠）の強さは「研究なし」であった。

◆益と害のバランス評価

該当論文がないことから、現状では介入と対照のいずれかを支持できる根拠に乏しく、「わからない」と判断した。ただし、患者の年齢や認知機能を十分に考慮したうえで、身体活動の管理やホームエクササイズの指導が臨床的に有用であ

ると考えられる場合には、これらの教育的介入が実施される必要性があると考えられる。また、患者によっては頻繁な通院が難しいこともある。その際には、限られた通院の機会に、患者や家族へ教育的介入を行うことが現実的であり、患者や家族への利益もあると考えられる。益と害のバランスについては明確な根拠には乏しいが、現実的に即して推奨を決定した。

◆患者の価値観・希望

おそらく、機能障害（ALSFRS-R）や ADL、QOL とった項目について評価することが望ましいと考えられ、これらの評価については一般的な評価尺度もある。しかしながら、該当する論文がなく、教育的介入による効果も不明であることから、患者の価値観を反映する「望ましいアウトカムがわからない」と判断した。患者の希望については、地域によって専門的な知識や技術を有する理学療法士に偏りがあるため、地域における偏在が縮小されるよう、理学療法士のなかにおける広い情報共有が求められた。

◆コストの評価

国民皆保険制度のもと、難病のリハビリテーション料は算定期限がなく利用しやすい。実施にあたり保険診療外のコストはかからないこと、保険診療内での理学療法として多くの施設で実施が可能であること、身体活動量の管理のために歩数計などの器具を用いる場合は保険適用外になるが安価な器具であること、一方でホームエクササイズの指導などは、通院の負担を減らすことも可能と考えられることなどを総合的に考慮し、「わずかなコストや節約」と判断した。

◆文献・検索式は Web 掲載 <http://>

なし